

戦気 N031

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



6月25日 Raging Battle 60kg級 斉藤 司 優勝! MVP!

三谷大和スポーツジムは千葉県八千代市にある。三谷会長は度々市内で開かれる行政や地域の集まりに出席し、自らの体験を通して青少年育成に係わりあっている。その関係もあり、今回の斉藤司が出場するレイジングバトル60kg級トーナメント決勝戦に豊田俊郎八千代市長を始めとして八千代商工会議所の上代修二会頭などの八千代市応援団が多数応援観戦に後楽園ホールに足を運び、2階席から「八千代の星・斉藤 司」の旗が新たに掲げられた。

斉藤司はメインイベント者として最終試合に登場。対戦相手は原純平選手(大橋ジム: 12戦9勝6KO2敗1分け)。両者は4月の準決勝戦をKO勝ちし決勝戦に進出してきた。

私は毎週、後楽園ホールに足を運び多くの試合を観戦しているが久しぶりに激闘を見た。流血に加え、お互い壮絶な打ち合いのため後楽園ホールの観客は息をのんで見つめた。

1ラウンドの司は、原選手の攻撃パターンを観ているようで手数が少ない。それでも後半、右ストレート、左右のフックを打ち、両者早くも鼻血を出す展開。原選手やや優勢。

2ラウンドからは両者譲らず激しく打ち合う。このラウンドも手数は原選手の方が多し。司は被弾するが左アッパー、右フック、左ボディが随所に決まる。

3ラウンドになるとハッキリ司が優勢になったのが分かる。原選手はヒッティングで右目上をカット、鼻血に加えて顔面が血だらけとなりながらも前進する。ガッツのある選手だ。

ラストラウンドも文字通り両者渾身の力を込めてパンチを繰り出し激しく打ち合う。が、司の優位は変わらずグングンとなった。判定は3:0(39:38.39:37.40:37)で司の判定勝利。

司は優勝賞金50万円、MVP賞金20万円を獲得した。2008年東日本フェザー級新人王(MVP)、全日本フェザー級新人王(MVP)に続き、3度目の最優秀選手賞(MVP)を獲得した。司は現在12連勝中であるが「世界チャンピオン」という夢の実現への階段をまた一步登った。

頑張れ、斉藤司! 八千代の星!



斉藤司の言葉

今日は観戦に来ていただき、ありがとうございます。試合前に会長と4ラウンドという短い決戦を、どう戦うのか考えました。短いと戦いづらいです。原選手はパンチがありました。会長には親以上にお世話になっています。会長とは世界

まで一緒にいきますので、みなさん、これからも応援よろしくお願ひします。



ごんごちゃんは見た!!

2009年6月25日、マイケル・ジャクソンは50歳で亡くなりました。マイケルと彼のチームが最高のショーを作り出していくためのリハーサル過程を編集した「THIS IS IT」が上映されています。映画はマイケルが自己を客観的に確認するために撮影したプライベートフィルムを主に構成されていますが、観客の見えないところで真摯に完璧を目指して仲間とともに前進していく姿に感銘します。プロとはなにか、本物とはなにか、が伝わってくる映画だと思います。ジム生のみんな! 本物を目指し前進しよう!



後楽園ホール

司の左ストレートが顔面直撃

チャレンジスピリッツシリーズ 川瀬伊達男 判定負け(6/30)

第6試合に川瀬伊達男が登場した。以前「コブラ川瀬」というリングネームで戦っていた川瀬は、防御よりも攻撃を先行させるブルファイターである。対戦相手は梅津宏治選手(ワタナベジム、27戦15勝6KO9敗3分)で第53代日本フェザー級の元チャンピオンであり、現在は日本フェザー級8位にランクされる右ボクサーファイターである。

川瀬のジャブが出るようになり試合もこれからだと思った1ラウンド中盤。梅津選手が放った右フックがジャストミートで川瀬の顔面にヒットした。川瀬は尻餅をつくダウン。すぐに立ち上がったが、足がもつれていると判断した福地レフェリーは、梅津選手がラッシュをかけると躊躇なく川瀬の頭を抱き片手を振り1分48秒であっけなく試合終了を告げた。



川瀬伊達男の言葉

梅津選手の右フックは全く見えなかった。気がついたら尻餅をついていた。ダメージはなかったのですがすぐに立ったが止められてしまった。負けてしまってすみません。

三谷会長のコメント

司の今日の出来は80点だね。1ラウンドの原選手の動きを見て2ラウンドから戦い方を変えたよね。ああゆうふうには司は考えて戦えるんだよ。いい試合展開だったから、これからも頑張って欲しい。

スケジュール

7月23日 福本雄基、岩井 大、篠塚和也、
 7月29日 林 涼樹 東日本新人王2回戦

編集後記 眩いライトに照らされた後楽園ホールで、リングアナウンサーに高々と名前を呼ばれ登場する選手たちはリングに上がるまでに様々な自己葛藤を乗り越えてくる。選手は練習をすれば必ず巧くなるとは限らないが、練習をしなければ絶対に巧くならない。戦う男は輝きを放つ。